

一般質問

村井 孝彦 議員
市民グループ未来の会



施政方針について

Q 変わりゆく現状を分析し、制度・政策の不断の見直しの必要性は感じているが、市民のため厳しい戦いに挑み、積極的に挑戦するため、今後も地域間・都市間競争を行っていくべきと考えるが、市長の考えは。

A 地方自治体の生き残りを賭けた都市間競争は一層の激しさを増す現状の中で、補助金という手法の効果を一律に否定するものではありませんが、「ばらまき」と言われるような過大な補助金合戦による都市間競争を行うのではなく、本市の有するポテンシャルを最大限発揮できるまちづくり施策の推進により、他市町との差別化を図る必要があると考えています。

(市長)

質問の項目

- ・ 防災対策・危機管理について
- ・ 新聞を活用した教育について

人・農地プランの実質化の実現を

Q 人・農地プランは、平成24年に制定され、現在実質化に向けて検討していると聞くが、本市の現状は。

A 本市の人・農地プランの作成状況は、市内を20の地区に分け、市街地及び島しょ部を除いた、市内全域をカバーしたプランを作成しています。

現在、本市においては実質化に向けたアンケート調査の回収を終え、内容を精査しながら地図の作成を行っているところです。地図完成後は、速やかに農業者等の意向や農地中間管理事業の動向等を踏まえ、地域の特性に応じた農地利用の在り方、中心経営体への農地集積の方針等を協議し、人・農地プランの実質化に向けて作成を行っていきたいと考えています。

(建設経済部長)



山条 真嗣 議員
新政会



避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組を

Q 各避難所における3密を避けたスペースや電源・水の確保は重要である。またトイレや冷暖房設備はどうなっているのか。

A 避難所が過密となることが避けられない場合の避難先として、自主避難場所や、安全が確保できる場合の在宅避難等、分散避難についても様々な機会を通じて呼びかけていきたいと考えています。

また、電源は災害・非常用発電池を整備しており、水の確保については、県の緊急物資の備蓄マニュアルに基づいて備蓄をしています。さらに駅前市民広場の耐震水槽に飲料水用として貯水しています。トイレについては、水洗トイレの使用が困難になった場合を想定し、排せつ物処理袋などの携帯トイレや簡易トイレの整備を進めています。エアコンが設置されていない学校等の体育館を避難所として使用する際の対応として、複数のレンタル業者との間でレンタル機材の提供に関する協定を締結して、冷暖房機器等についても必要に応じて提供を依頼することとしています。

(総務部長)

質問の項目

- ・ 道路整備について
- ・ 学校教育について

障がい福祉の現状は

Q 優先調達推進法のもと、本市での市内障がい者就労施設への発注状況及び発注金額は。

A 本市の物品及び役務等の発注状況の主なもの、公共施設の草花植栽管理委託や印刷業務の委託などがあり、昨年度の調達実績は目標額240万円に対し、実績は225万円でした。そのうち、市内障がい者就労施設等への発注実績は約3万円です。

市内障がい者就労施設等への発注が伸び悩んでいる要因としては、当該施設等への発注可能な役務等が把握されていない現状が背景にあると考えています。

今後とも、障がい者就労施設等への発注に関し、定期的な周知等により、市内事業所をはじめとする障がい者就労施設等の受注機会を拡大し、当該施設等で就労する障がい者、在宅就業障がい者などの自立促進につなげていきたいと考えています。

(健康福祉部長)